

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年四月度 入選句（投稿総数千九百五十六句・一般投句数七百九十六句）

特選

将来は保母さんと決め入学す

安八郡神戸町

高橋 日出美

希望に満ちた温もりを感じる句。特に季語がよく活きている、又入学すとしつかり留めたのが良い。

逃水やその先美濃の岐れ道

大垣市

中山 あや子

晴天の路上に水溜まりのようなものが見える。水だと思つて近づくと遠ざかつてしまう。物理的な現象ではあるが、浪漫的、幻想的なイメージもある。句では「逃水や」と切れ字に「や」としたのも作者の心底に中山道と美濃路に対するロマンからであろう。「逃げ水」に対して「岐れ道」がよく生きている句。

みなぞこの間延びしてゐる蝌蚪の紐

大垣市

佐藤 すみ子

蝌蚪の紐とはお玉杓子になる前の卵がゼリー状になつて紐状の屑に包まれてゐる状態のもので池の淵等によく見られる。紐状になつてだらけてゐるように見えるので作者は間延びしていると表現したところに春の長閑なうららかな景色に読者が誘われる佳句

秀逸

残雪の下からひびく水の音

大垣市

栗田 基弘

春の寺日日勉強の文字光る

大垣市

久富 キヌエ

行く水にすこし遅れて花筏

安八郡神戸町

高橋 泰

諸人に散り行く花の急ぎけり

大垣市

山田 賀子

髪少し短かめにして春の風

大垣市

多和田 一徳

花びらと一緒に下るたらい舟

大垣市

宇野 聡

さみどりの風生れたる柳かな

安八郡神戸町

澤崎 和子

花の雨江戸むらさきの帯走る

大垣市

早崎 美弥子

うぐひすに話とられてしまひけり

大垣市

矢橋 郁子

雪洞も橋も紅色花万朶

安八郡神戸町

安田 廣子

入選

芭蕉像肩に触れなむ桜花かな	兵庫県西宮市	越智 巖
芭蕉碑や桜三分の花月橋	京都府宇治市	古根 洋子
花筏割りて繕ふたらひ舟	三重県四日市市	平野 透
花吹雪舞い散る先にランドセル	大垣市	村上 敏之
道問はる吾も過客や梅日和	大垣市	大西 誠一
花の宿江戸の版木の箸袋	東京都世田谷区	関戸 信治
風ふいに生れて花びら流さるる	大垣市	竹中 輝美子
ゴム毬に遊ばるる子や花籃	安人郡神戸町	高橋 泰
惜しみなく香り振り撒く沈丁花	鹿児島県鹿児島市百武	葉一
兩岸の句をよみ花の舟下り	愛知県高浜市	安藤 明女

入選

麗らかや乙女の像は水こぼす	大垣市	森川 きよ子
かわぞいのまんかいざくらうつりゆく	大垣市	中村 友梨香
車椅子和みの春のコンサート	大垣市	尾関 逸子
薄ら日の天体ドーム鳥雲に	岐阜市	宮西 美代子
春風や榭工房に木の香満つ	愛知県岡崎市	富川 智子
水面にも花の映ゆるや舟下り	瑞穂市	奥田 宇滴
隣よりピアノの音や朝ざくら	大垣市	新町 恵子
二円切手貼り足し投句す青葉風	静岡県静岡市	内藤 知
さくら散りはかない恋も流れだす	東京都江戸川区	三間 二三代
うららかなや舫いのきしむ屋形舟	京都府京都市	橋本 民部

選者吟

あれこれと迷ふ挙句の花衣

伊藤 百雲